

竜王新聞



第 58号



二期スタート！

今日から二期です。子どもたちが元気に登校してくれました。今日からまた四十二名で楽しい学校生活を送っていきたいと思います。よろしくおねがいします。

ただ、残念なことに新型コロナウイルス感染症の拡大が止まりません。変異株（デルタ株）の広がりによって、十代、二十代の若年層での感染が増えているようです。高知県は八月二十七日より九月十二日まで、「まん延防止特別措置」指定地域となつています。病床がひっ迫し自宅療養を余儀なくされている方も多いと聞きます。

そこで、学校としても子どもたちの安心安全な学校生活に向けて、できる限りの感染防止対策を取りながら、学習を進めていきたいと考えています。次のことにご留意ください。

感染対策の徹底のために

- 一、朝の検温、マスクの着用を続けてお願いします。
 - 二、発熱等で体調がすぐれない時は、思い切ってお休みをして病院にいきましよう。学校で具合が悪くなったらすぐにご連絡します。
 - 三、口腔内を清潔に保つことは、ウイルスにも効果があるといわれています。朝の歯みがきをして登校させてください。
- 「まん延防止特別措置」の期間内は、全校が集まらないよう掃除を横割りにしたり、集会をオンラインで行ったりします。また、接触が少なくなるように学習内容を入れ替えて対応していきます。感染予防を徹底しますが、学びは止めない方法を考えながら学校運営を行っていきますので、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

夏休みの居場所

今年 はじめて、夏休みの居場所を4週間開設しました。午前9時から午後4時30分まで多くの子どもたちが参加することができました。

上級生が1日の時間割や掃除当番を考えてくれました。また、困ったことがあると自分たちで相談して解決しようとしていました。

「草木染めタペストリー教室」「紙漉き教室」「ミニプランターづくり(木工)教室」など、様々な教室も開設し、普段はできない体験を子どもたちに楽しんでもらいました。

草木染教室の講師、矢野さんから届いたお手紙を紹介しす。

「県下各市町村の学校に伺いますが、私たちも浦戸小学校の子どもさんたちはすばらしいなあと感じしきりの楽しい1日でした。テレビニュースやSNSで拝見したことでしたが、普段から様々な体験の場を先生方が導入されているので、自ら感じたり考えたりして豊かな心が育っている成果なのだと思います。上級生が下級生のお世話をしたり、自分の意見をちゃんとと言えるし、自分で考えていろいろ工夫し、思いがけない模様に染まると「すげえ！」と目を輝かせていました。いや、本当にすごいと思いました。」子どもたちの育ちをこのように感じてくださる方がいることを本当にうれしく思います。最後になりましたが、夏休みも指導をしてくださった指導員の皆様本当にありがとうございました。

取材していただきました

8月18、19日の2日間、NHK Eテレの番組「ウサの保護者会」の取材がありました。本校が、生活科・総合的な学習を中心に行っている教科横断型探究学習(STEM教育)を同番組で取り上げていただけるそうです。

放送は10月16日(土)夜9:30~9:45、再放送は10月23日(土)昼12:30~12:54の予定です。

続いて、8月26日はNHK高知の夕方のニュース「こうちいちばん」の防災コーナー「あつちゃんまこと先生のにげあしジシンあり」の取材でした。岡村先生と子どもたちが避難場所や避難路を歩きながら、「地域みんなが助かる方法」を話し合いました。この放送は9月10日です。

最後に、9月1日の始業式とシェイクアウト訓練もNHK高知が取材してくださいました。これは本日の放送です。



今後の行事等について

先日保護者のみなさんには「すぐる」でもお知らせした通り、参観日・作品展・給食試食会は中止。高学年の集団宿泊活動は10月に延期としました。「まん延防止特別措置」が出ている間は、人の流れを抑えていくようにします。本校は来校者の多い学校で、本来なら子どもたちの学びの大切な機会となるのですが、しばらくは状況を見ながら、オンライン等を活用して学習を進めていきます。

また、高知市の学童陸上記録会はすでに中止が決まっておりますのでお知らせください。

10月以降の行事については、現在のところ計画通り実施する予定ですが、状況によっては延期や中止となることをご理解ください。

よろしくお願いいたします。



全国学力学習状況調査の結果

8月31日(火)に公表されました「令和3年度 学力学習状況調査」の本校の結果をお知らせします。今回は、国語算数ともに正答率が全国平均を上回る結果となりました。

国語は全国平均より20.3ポイント、算数は9.8ポイント上回っています。6年生は、5年生の時の県学力定着状況調査で、国語の基本的な漢字やことばのきまりに課題があることが分かり、知識技能の習得に継続して取り組みました。また、複数の資料を読み解き、条件に沿って答えを出す力は、普段の「うらどベーシック」や探究学習で日々つけてきました。国語算数ともに、どの子にも無答がありませんでした。6名全員が半年間で大きくステップアップしました。

本調査には、質問紙というものがあります。普段の生活や学習の様子を問うものです。特に学校での学習状況については、協働的な学習ができており、一人ひとりが主体的に学んでいる様子が分かる結果でした。普段の生活にもそれは表れています。

4年目に入った「うらどベーシック」が子どもたちに定着するにしたがって、学力の面でも良い結果が出ていることを大変うれしく思っています。

これからも、子どもたちが「主体的・対話的で深い学び」を構築できる学校であるよう取り組みを進めていきたいと思ひます。